

「関西ビジョン2020」 参考資料

データから見る 関西経済の特性と産業競争力

2008年10月

社団法人 関西経済連合会

注) 本資料データの地域区分は特に断りのない限り以下の通りとする。

「関西」…福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

「関東」…茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

「中部」…長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

「全国」…関西・関東・中部を含む全都道府県

ポイント

【他地域より速い人口減少・少子高齢化】

- マーケットは縮小傾向にあるものの依然大きなシェアを確保。
- 少子高齢化対策の先進事例を生み出すことができる可能性。
- “量より質”への転換が可能。

【独創的な技術を持つ中小企業群・研究開発拠点の集積】

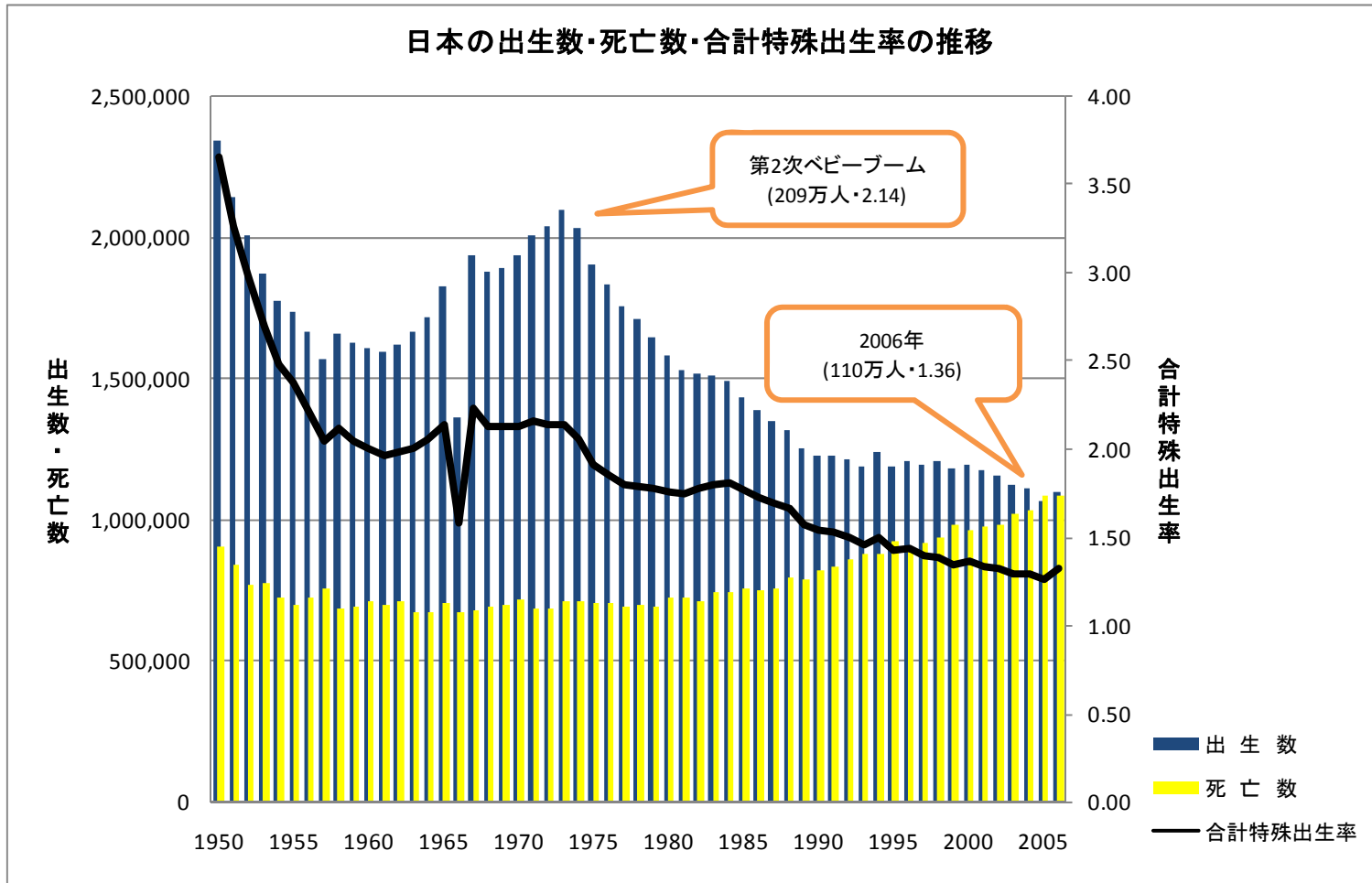
- （人口減少などの）危機感をバネにしてイノベーションが創出される。
- 独自の技術力を持った元気な中小企業群の集積
- 生活者目線の商品を生み出してきた土壌
- 次世代の課題を解決するための研究開発拠点・大学が集積

【強いアジアとの結びつき】

- 古代より貿易・観光等さまざまな面で関西とアジアは重要なパートナー。
- 高い成長が期待されるアジアと連動した成長の可能性

人口（日本）

bad



(厚生労働省「人口動態推計」)

日本：出生数と死亡数が逆転、人口減少時代に突入。

人口（関西）

bad

	日本	関西	中部	関東
2005年 人口 （高齢化率）	12,777万人 (20.2%)	2,171万人 (19.5%)	1,722万人 (19.7%)	4,238万人 (17.9%)
2025年 人口 （高齢化率）	11,927万人 (30.5%)	1,970万人 (30.4%)	1,624万人 (29.1%)	4,236万人 (27.9%)
人口増減数	▲850万人	▲201万人	▲98万人	▲2万人
人口減少が 始まる年	2005年	2004年	2015年	2015年

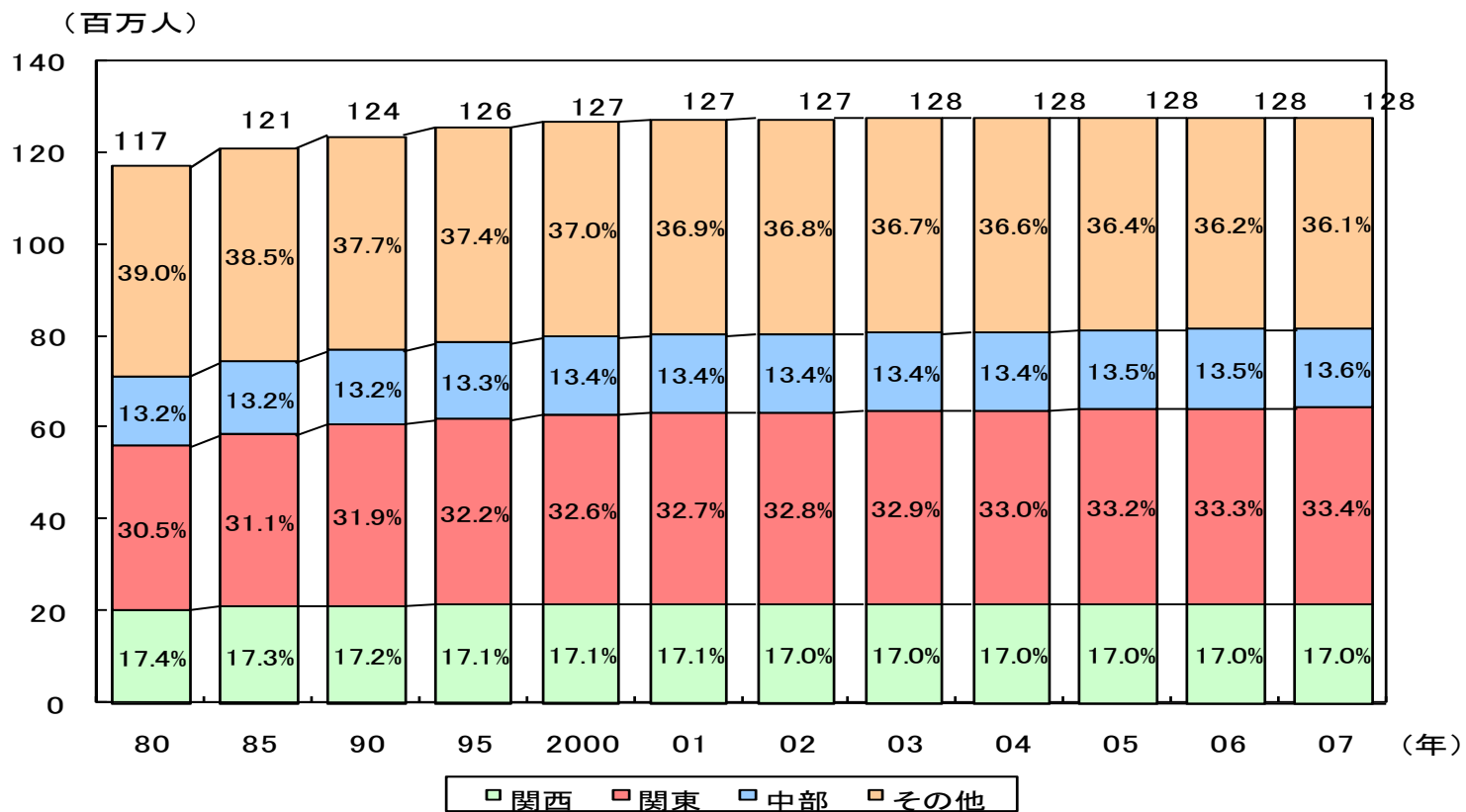
（関西社会経済研究所「2007年版関西経済白書」）

関西：他地域に比べ人口減少・高齢化の進行が速い。

人口（国内シェア）



総人口と国内シェアの推移

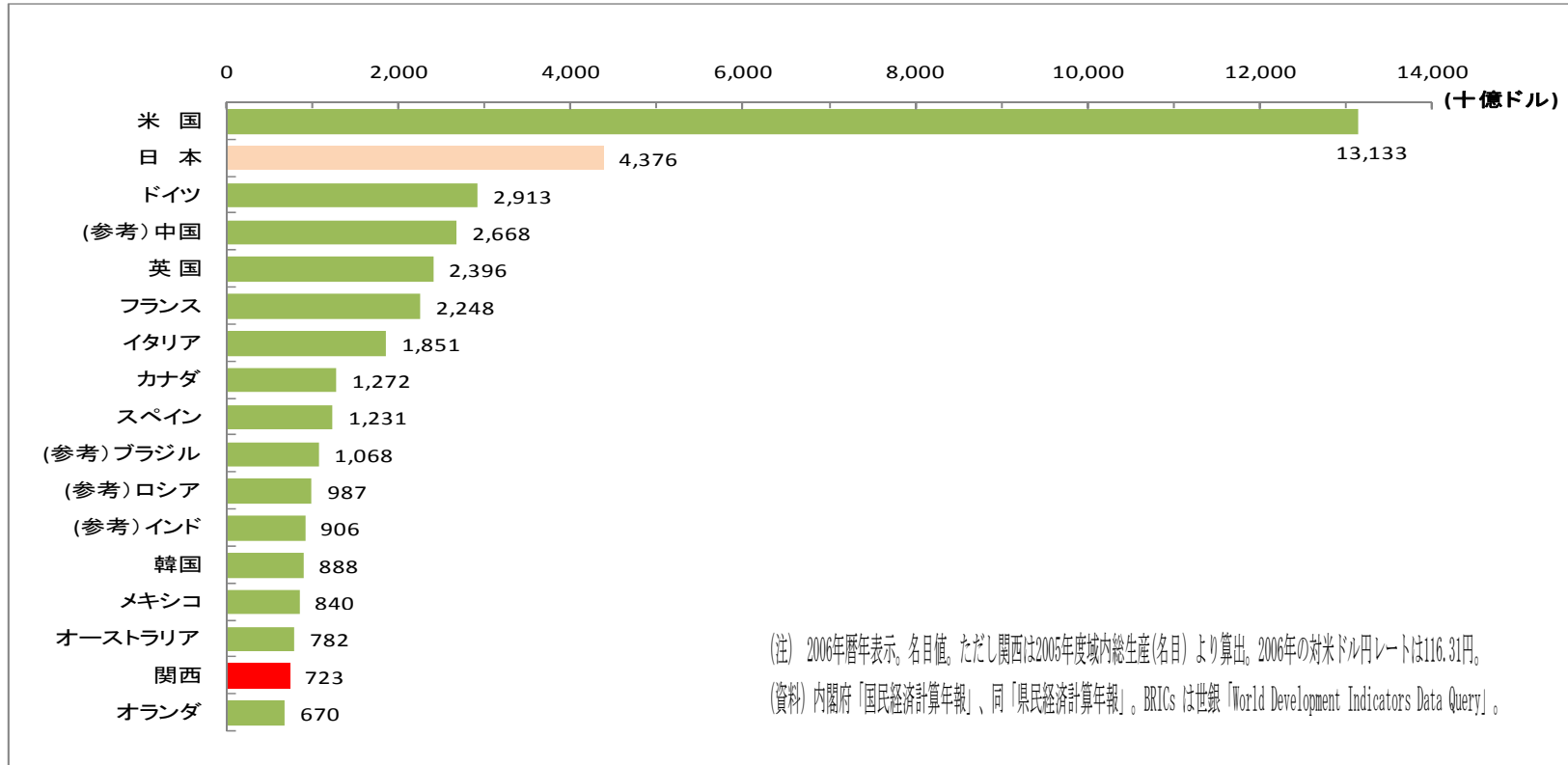


(総務省統計局「国勢調査報告」「同推計人口」)

関西：総人口は減少に向かうものの対全国シェアは横ばいを保つ

域内総生産(経済規模)

OECD主要国との域内総生産の比較(2006年)



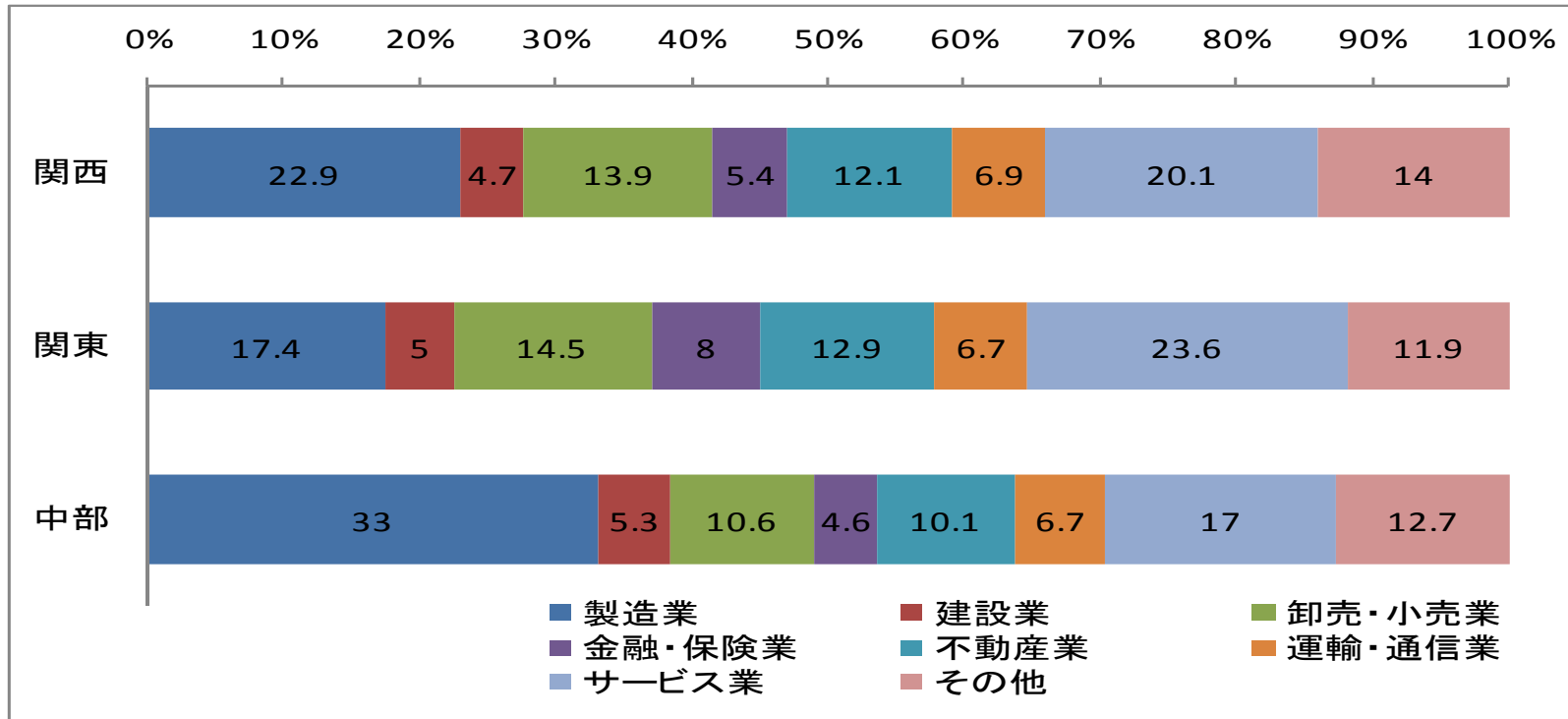
(関西社会経済研究所「2008年版関西経済白書」)

関西：オーストラリア・オランダと同等程度の経済規模を持つ

産業構造 ~バランス良い構成

good

産業別生産額構成比(2004年度)



	製造業	建設業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	運輸・通信業	サービス業	その他
関西	22.9	4.7	13.9	5.4	12.1	6.9	20.1	14
関東	17.4	5	14.5	8	12.9	6.7	23.6	11.9
中部	33	5.3	10.6	4.6	10.1	6.7	17	12.7

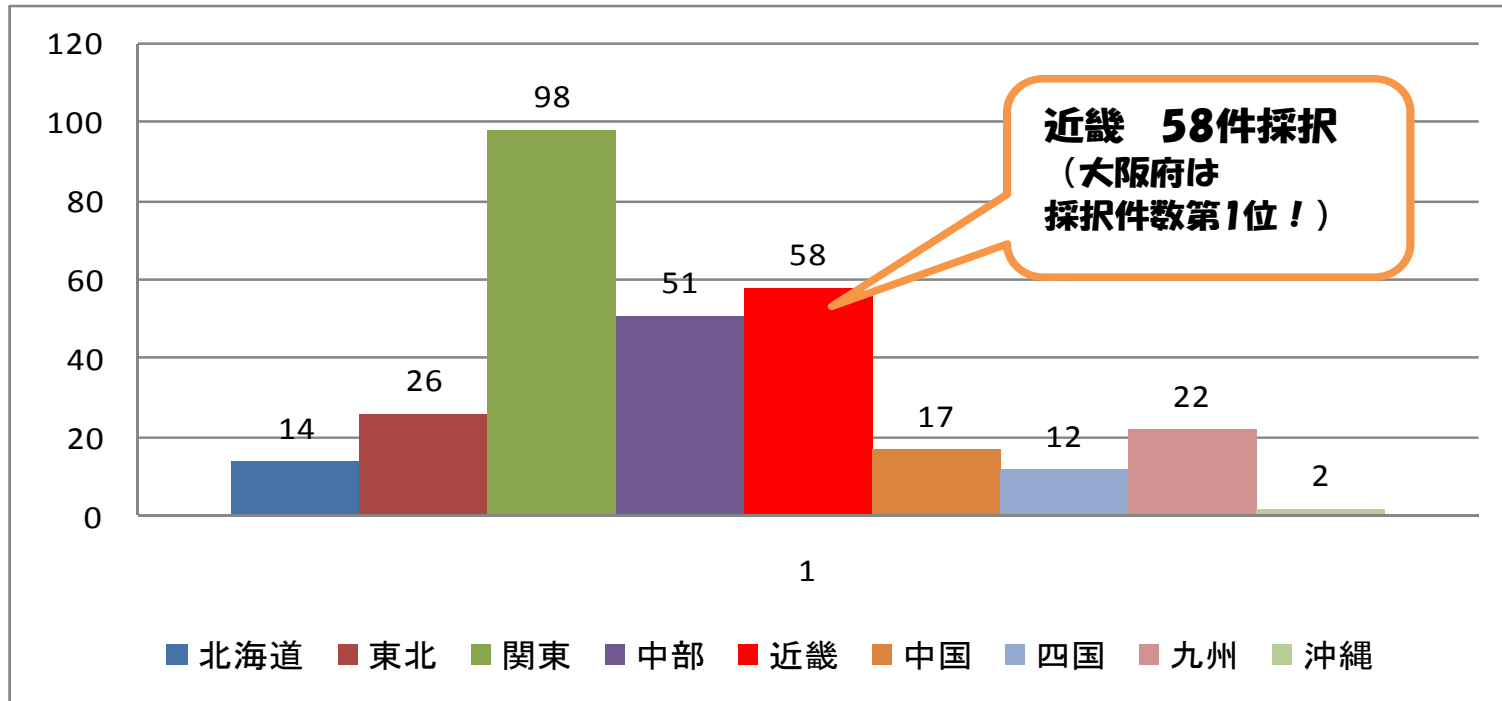
(内閣府経済社会総合研究所「県民経済計算年報」)

関西：特定の産業に頼らない、バランス良い産業構造。

産業構造 ～元気な中小企業が集積



「元気なモノ作り中小企業300社」2007年版 地域別採択件数



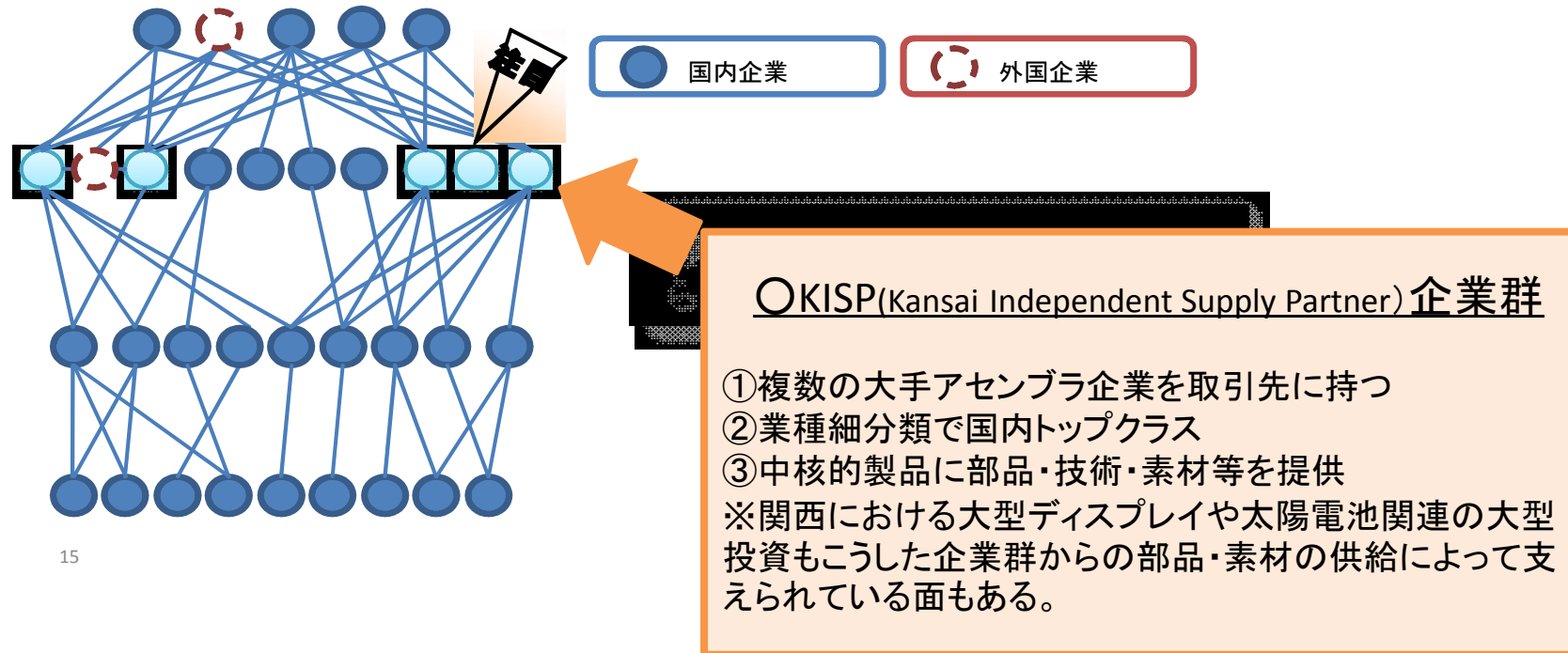
北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
14	26	98	51	58	17	12	22	2

(経済産業省中小企業庁)

関西：高度なモノ作り技術を持つ元気な中小企業が集積。
(都道府県別では大阪府が採択件数第1位)

産業構造 ~独自の技術力を持つ中小企業群の存在

good

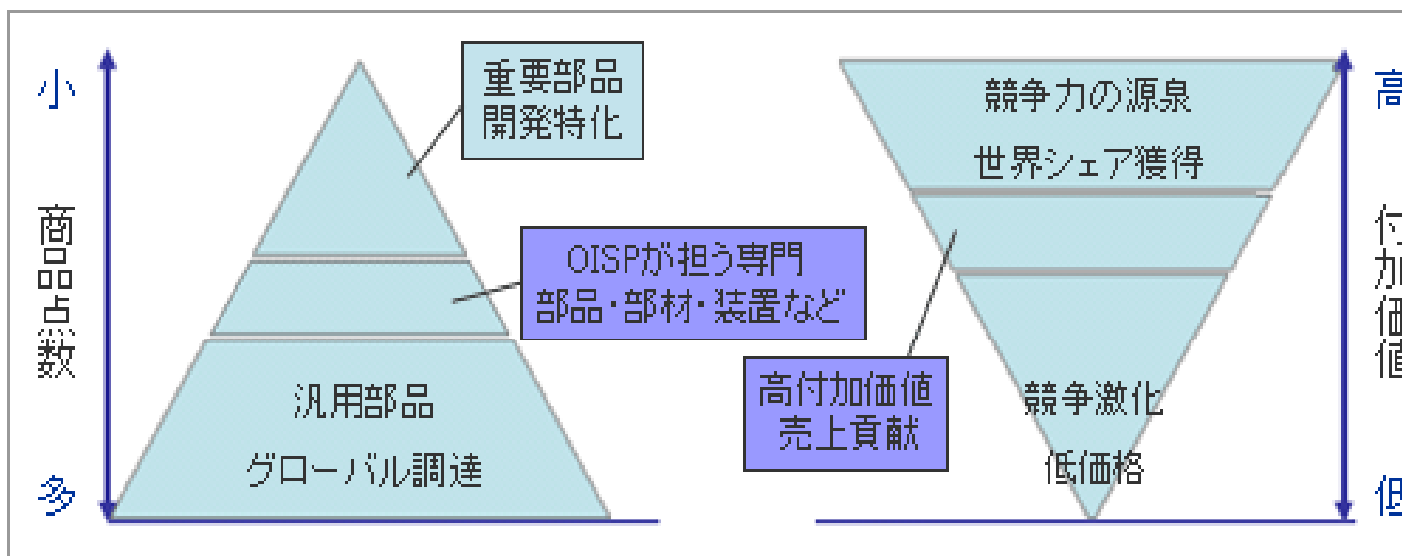
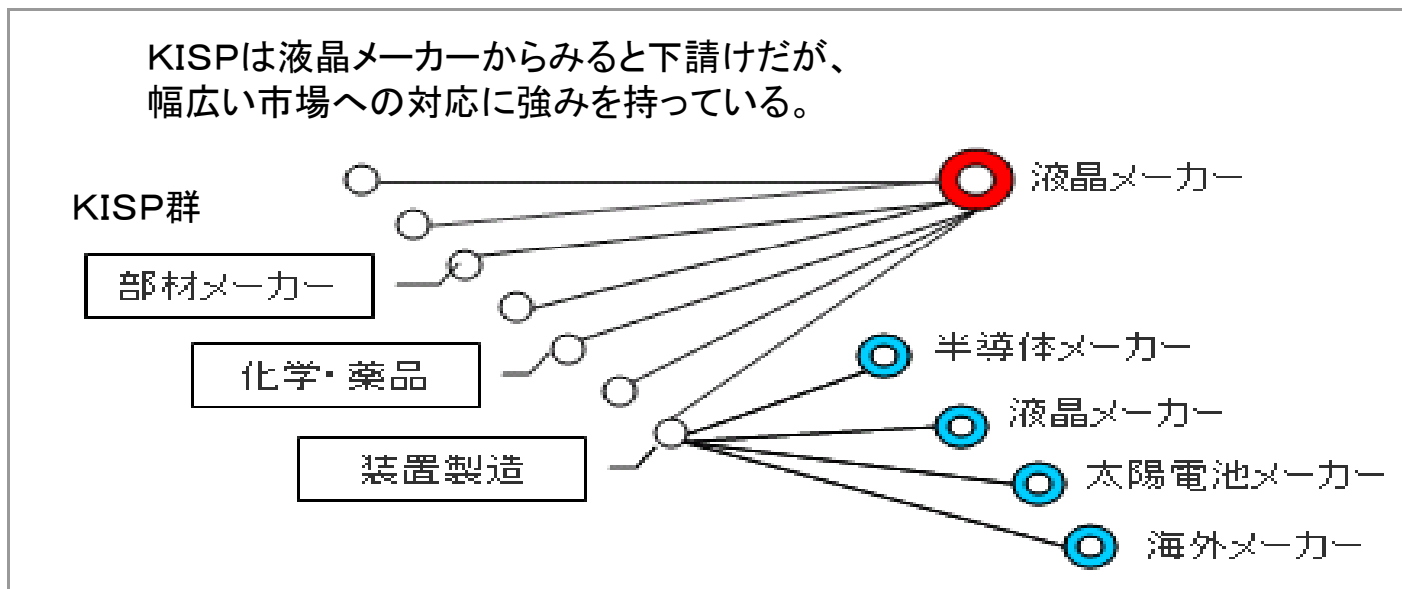


15

(帝国データバンク資料などを参考に作成)

関西：企業城下町的な発展ではなく、中堅メーカーが独自の技術開発と市場開拓で成長。大企業の“縁の下の力持ち”として活躍。

参考：液晶関連のKISP企業について



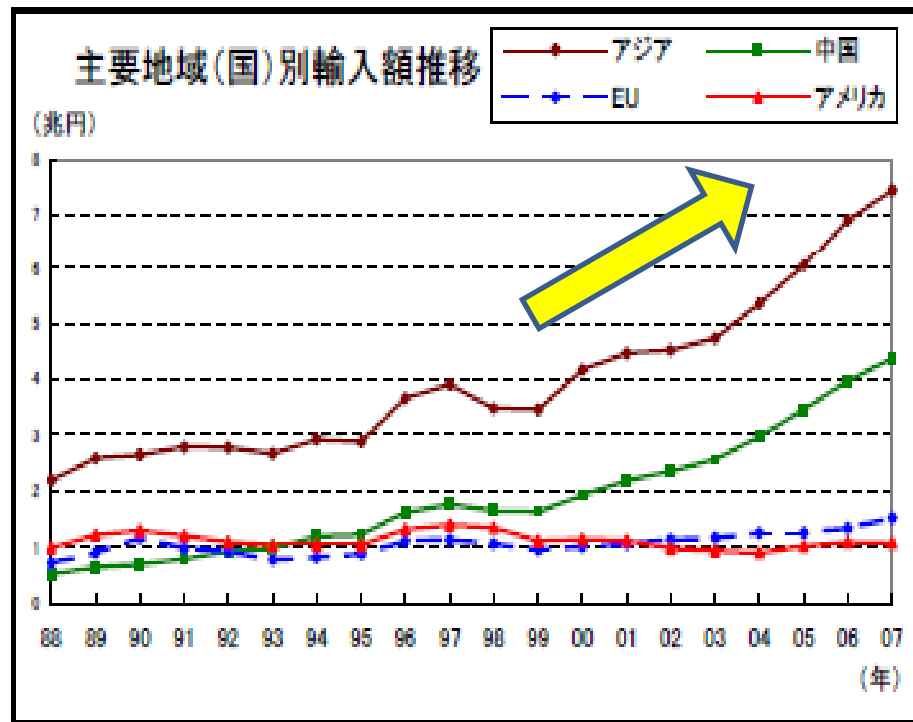
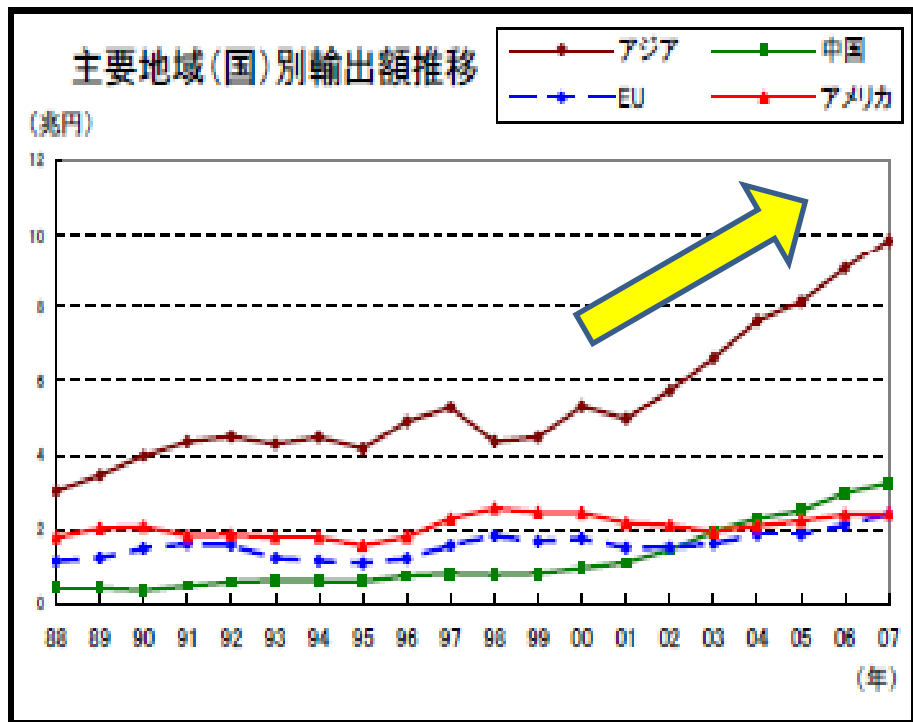
(資料：帝国データバンク作成資料)

世界市場で戦うメーカーは、競争力を維持、拡大するために、製品コンセプトや重要部品開発に特化し、専門分野や汎用品の外部調達が一般化している。高度化、緻密化が進む中で、相対的に専門的な部品・部材・装置に強みを持つKISPは、高い専門性から高付加価値な部品等を提供することで売上アップをしている。

貿易 ~強まるアジアとの結びつき



大阪税関管内 主要国別輸出入高の推移



(大阪税関「近畿圏貿易概況」)

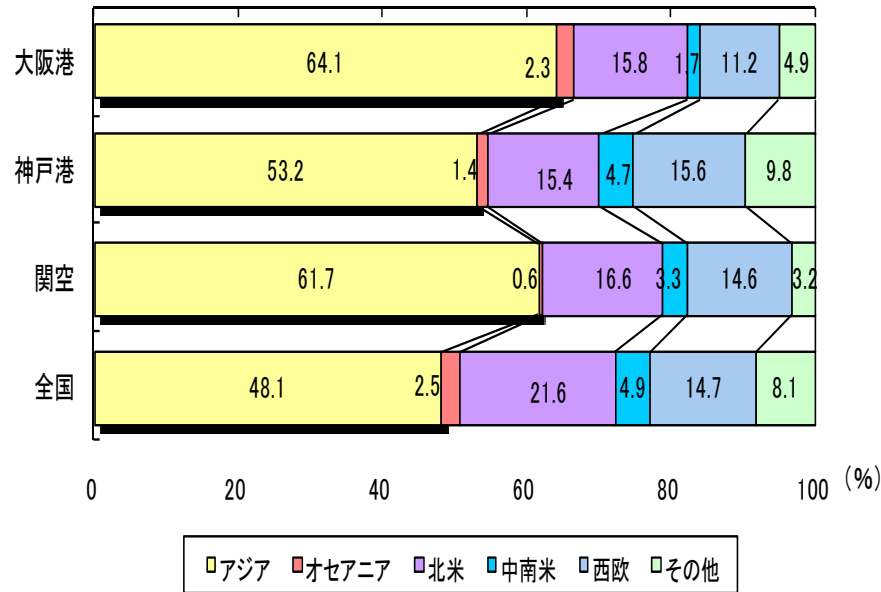
関西：この10年間でアジア向けの輸出入が急速な伸び。

貿易～他地域よりも強い結びつき

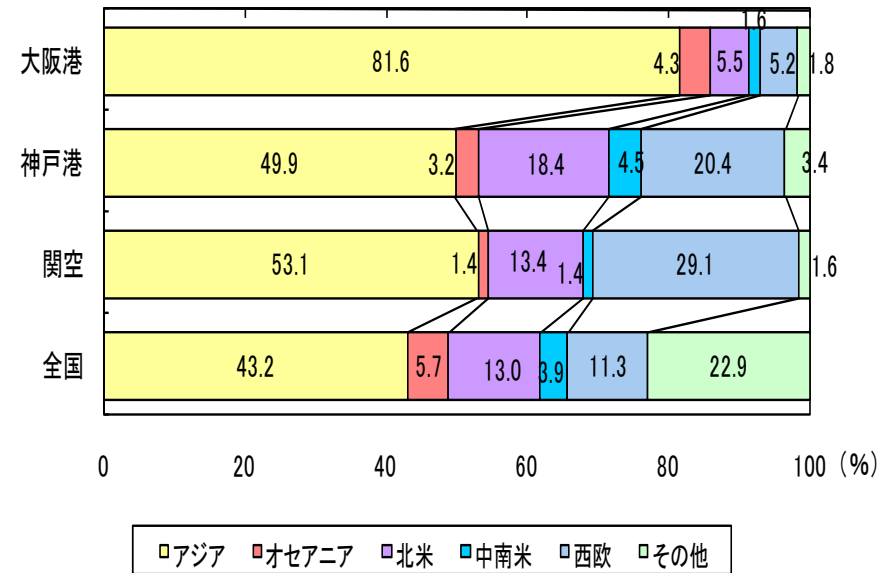


関西主要港の相手地域別輸出入割合(2007年)

<輸出>



<輸入>



(大阪税関「近畿圏貿易概況」)

関西：国内他地域よりも関西とアジアは貿易上強いつながりを持つ。

教育・研究

good

2008年度 文部科学省「グローバルCOEプログラム」採択校

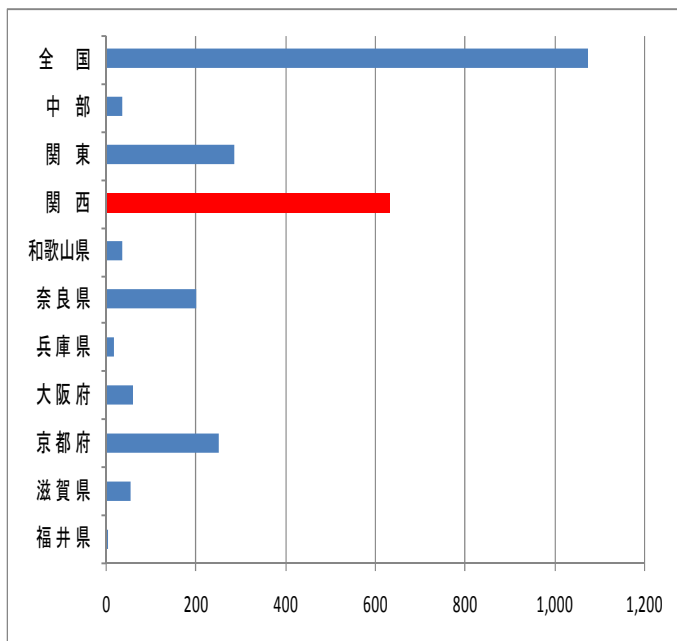
- 1位 東京大学(10件)
- 2位 東北大学(7件)
- 3位 京都大学(6件)
- 4位 大阪大学・慶應義塾大学(4件)
- 5位 名古屋大学・北海道大学・早稲田大学・東京工業大学(3件)
- 6位 神戸大学・一橋大学・千葉大学・九州大学・熊本大学(2件)
- 7位 立命館大学・近畿大学・帯広畜産大学・山形大学・横浜国立大学
政策研究大学院大学・山梨大学・鳥取大学・愛媛大学・長崎大学・
専修大学・東京理科大学・明治大学・東京工芸大学(1件)

○国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援する制度。
○全68件中、関西の大学が5校14件ランクイン。

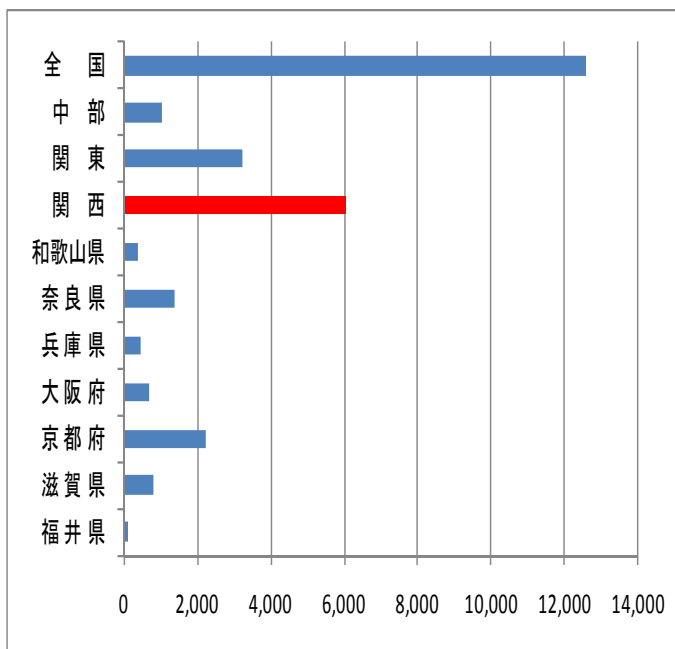
○iPS細胞研究の山中伸弥教授(京都大学)、世界で最も論文が引用されている自然免疫学の審良(あきら)静男教授(大阪大学)など科学技術分野をリードする研究者を擁する。

関西：有力大学の集積があり、関西の大学の教育・研究にかかる期待は大きい。

国宝数



重要文化財数



	国宝数	重要文化財数
福井県	6	100
滋賀県	55	804
京都府	253	2,230
大阪府	61	687
兵庫県	19	467
奈良県	203	1,375
和歌山県	36	381
関西	633	6,044
関東	288	3,258
中部	38	1,024
全国	1,074	12,611

(文化庁調べ(2008.5.1現在))

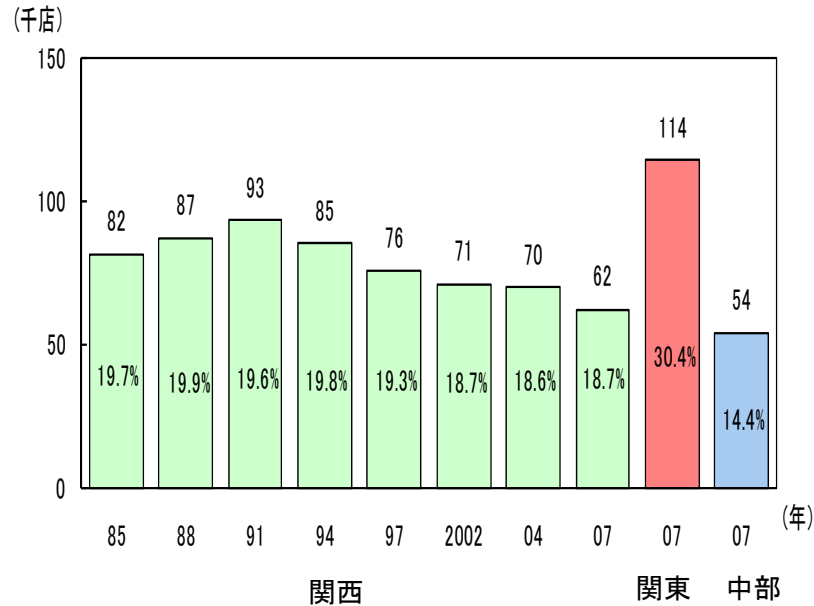
関西：国宝・重要文化財の数は国内随一。
重要な資源として広く国内外に魅力として発信できる要素。

商業(商店数の推移)

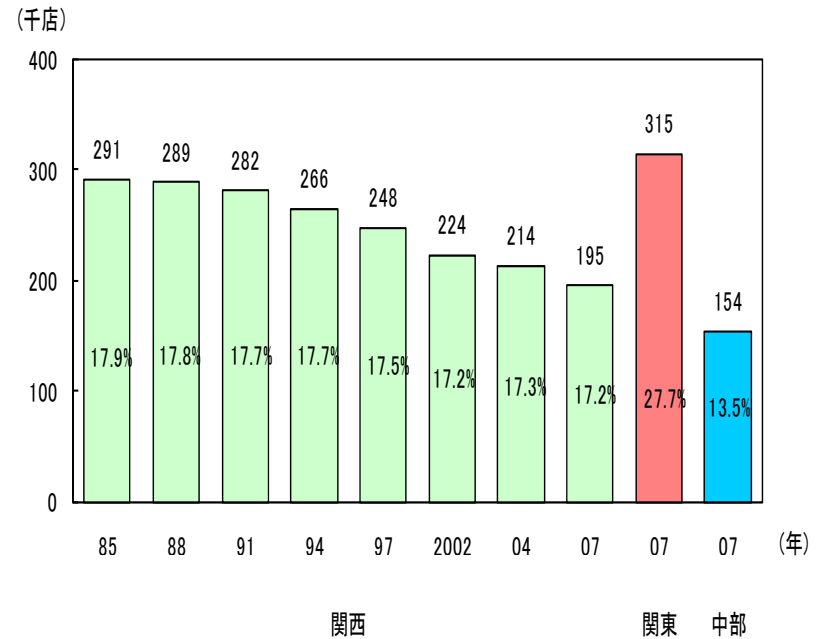
good

bad

卸売業の商店数の推移



小売業の商店数の推移



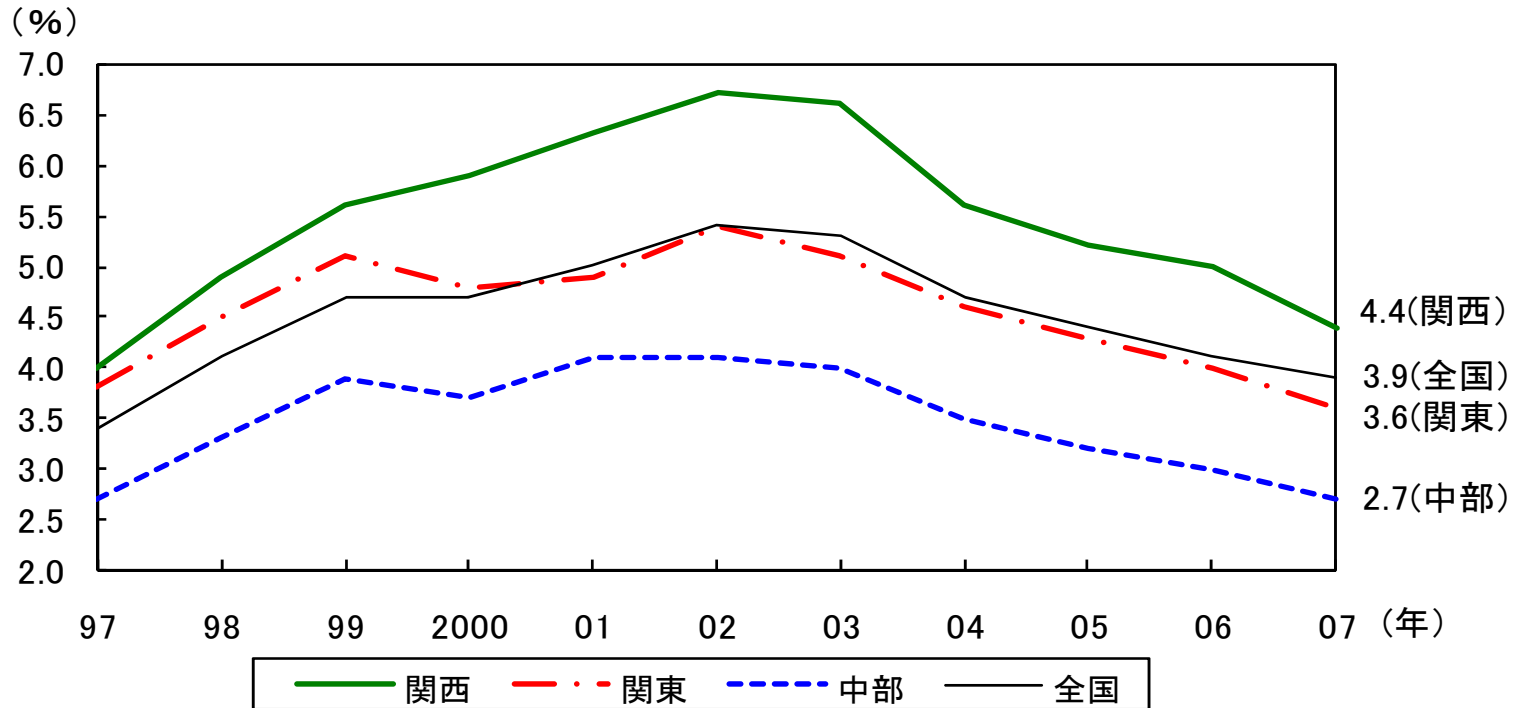
(経済産業省「商業統計表」)

関西：卸売・小売業の商店数は減少、年間販売額も低下しているが、一定のシェアを確保し続けている。

労働(失業率)

bad

完全失業率の推移



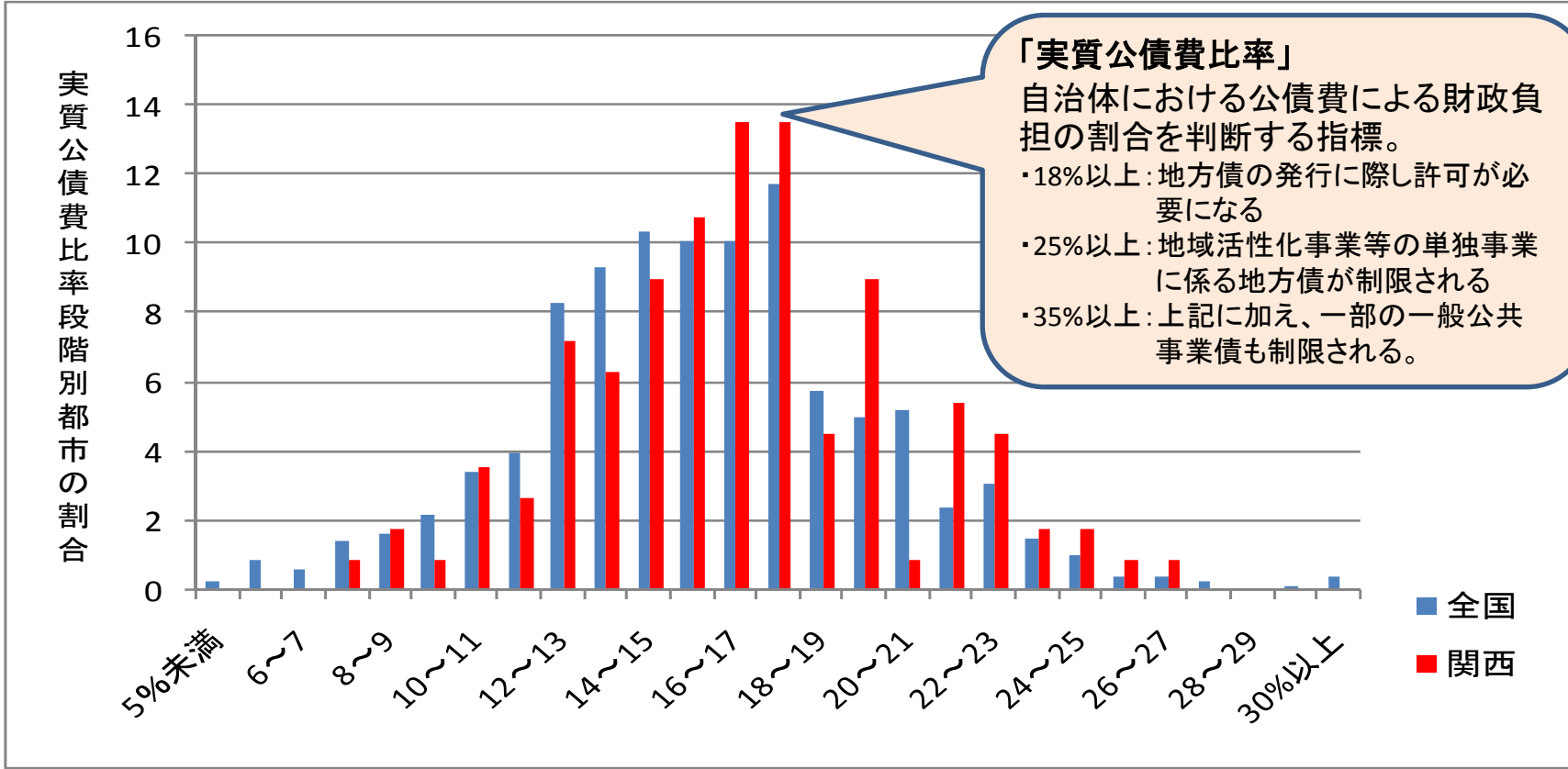
(厚生労働省「職業安定業務統計」)

関西：全国平均より高い水準で推移。今後、さらなる悪化の懸念も。

自治体財政 (実質公債費比率)

bad

実質公債費比率段階別都市の割合 (2006年度)



(総務省「市町村別決算状況調」より関西社会経済研究所が作成)

関西：全国に比べ、実質公債費比率の高い都市の割合が大きい
 ※比率18%以上の都市・・・全国：26.7% 関西：29.7%

自治体財政 (財政健全化判断比率)



財政4指標で基準を超えた自治体(2006年度)

○「財政再生基準」超過自治体(赤信号)	
北海道	夕張市・赤平市
長野県	王滝村

○「早期健全化基準」超過自治体(黄信号)	
北海道	留萌市・美唄市・三笠市・歌志内市・積丹町・江差町・南幌町・浜頓別町・中頓別町・利尻町・洞爺湖町
青森県	黒石市・大鰐町・深浦町・鱒ヶ沢町・西目屋村・田舎館村
山形県	新庄市
福島県	泉崎村・双葉町
群馬県	嬬恋村
長野県	平谷村・根羽村・秦阜村
大阪府	泉大津市・守口市・泉佐野市
兵庫県	淡路市・香美町
和歌山県	和歌山市
鳥取県	日野町
島根県	浜田市・奥出雲町・飯南町・斐川町・西ノ島町
高知県	安芸市
沖縄県	座間味村・伊平屋村・伊是名村

※財政4指標とは

- ①実質赤字比率
(一般会計などで赤字の程度を指標化)
- ②連結実質赤字比率
(下水道などの公営事業会計も含め指標化)
- ③実質公債費比率
(財政規模に占める借金返済額の割合)
- ④将来負担比率
(第三セクターや公社も含めた一般会計の負担を指標化)

(総務省「健全化判断比率」資料)

関西：国から財政健全化計画の策定を義務付けられる「財政健全化団体」のレベルにある自治体が多い(3大都市圏では唯一)。※和歌山市は県庁所在地として唯一。

ベンチャーを生み出してきた土壌

good

関西生まれの主な新商品

発売年	製品名	開発企業(社名は現社名)
1890	M23 蚊取線香	大日本除虫菊
1905	M38 仁丹	森下仁丹
	カレー粉	ハチ食品
1922	T11 おまけつき商品(グリコ)	江崎グリコ
1924	T13 クレパス	サクラクレパス
1925	T14 ラジオ受信機	シャープ
1928	S3 うどんすき	美々卵
1929	S4 駅ターミナル型百貨店	阪急百貨店
1931	S6 菓子タイプの昆布	中野物産
1933	S8 サイダー	アサヒビール
1936	S11 小型ディーゼルエンジン	ヤンマー
1937	S12 ヘアドライヤー	パナソニック
1940	S15 防虫剤	小林製薬
	建築用塗料	アサヒペン
1945	S20 ラムネ菓子	島田製菓
1946	S21 あんみつ	心斎橋ミツヤ
	練り歯磨き	塩野義製薬
1948	S23 スポーツ紙	デイリースポーツ
1952	S27 豚まん	蓬萊
1953	S28 ナイロン製バッグ	エース
	マジックインキ	寺西化学工業
	屋上ビアガーデン	梅田第一生命ビル
1956	S31 充電式太陽電池	京セラ
	靴下型足袋	福助
1958	S33 即席ラーメン	日清食品
1959	S34 プレハブ住宅	大和ハウス

1960	S35	発砲スチロール	積水化学工業
		食品包装用ラップフィルム	旭化成
1963	S38	紙幣両替機	オムロン
1964	S39	合成皮革	クラレ
		化学ぞうきん	ダスキン
1965	S40	体型を整える下着	ワコール
		健康ドリンク(オロナミンC)	大塚製薬
1966	S41	電子レンジ	シャープ
1967	S42	ウイナーソーセージ	日本ハム
1968	S43	レトルト食品(ボンカレー)	大塚食品
		エアータント	太陽工業
		増減自在の写真アルバム	ナカバヤシ
1969	S44	缶コーヒー	UCC
1970	S45	現金自動預金機	オムロン
1971	S46	カップラーメン	日清食品
		ホテルブランドの缶詰め	ホテルプラザ
1972	S47	電気陶器鍋	パナソニック
		カラオケ	クレセント
1973	S48	シンセサイザー	ローランド
1974	S49	カップ入り清酒	大関
1975	S50	トイレ用芳香剤	小林製薬
1976	S51	太陽電池式電卓	シャープ
1977	S52	ホーションタイプのコーヒーフレッシュ	メロディアン
1978	S53	前面で着脱するブラジャー	ワコール
1980	S55	レンタルレコードチェーン	黎紅堂
1983	S58	ビデオ一体型テレビ(テレビデオ)	パナソニック
		ファミコン	任天堂
1989	H1	機能性飲料(鉄骨飲料)	サントリー
1992	H4	生タイプカップラーメン(ラ王)	日清食品
1993	H5	硬貨一括投入式券売機	大阪市交通局

(三家英治編「年表で見る日本経済・新製品発売」)

関西：生活者視点に立った数多くのヒット商品を生み出してきた土壌。

good

関西における主な研究開発拠点

○播磨科学公園都市
(兵庫県たつの市・上郡町・佐用町)

【進出企業数:16社、昼間人口:5,255人、夜間人口:1,459人、外国人登録:43世帯75人、放射光関連就業者数:1,231人】

- ・ナノテクノロジー分野等の研究開発型企業・中核的企業の集積が進む。
- ・世界最高輝度の放射光発生施設「SPring-8」、兵庫県立粒子線医療センター、などが立地。
- ・住友電気工業、NECフィールディング、ダイセル化学工業など16社が進出。
- ・ゲノム創薬、金属・半導体材料、食品、燃料電池、ゴム・繊維、高分子材料等の集積が期待されている。

○北大阪バイオクラスター
○彩都ライフサイエンスパーク
(大阪府吹田市・茨木市)

【バイオ企業数:310社(道修町製薬企業群含む)、研究者数:3,100人、バイオベンチャー数:85社】

- ・バイオメディカル・創薬分野を中心とした研究開発拠点。
- ・「北大阪バイオクラスター」は“世界のバイオクラスター”ランキング第7位。
- ・大阪大学、国立循環器病センター、(独)医薬基盤研究所などの研究機関ならびに製薬企業、大学発バイオベンチャー等が立地。

○クリエイション・コア東大阪
(ものづくり支援拠点)

- ・ものづくり関連企業の販路開拓や情報受発信、産学連携による新事業創出や人材育成を実施。
- ・インキュベーションルーム進出企業22社
- ・展示ブース進出企業200社
- ・阪大、関大、立命大、同志社大、近大、東北大など15大学と1高専がサテライトオフィスを開設。

○神戸医療産業都市
(神戸市中央区 ポートアイランド)

【進出企業数:131社・団体(うち外国・外資企業8か国20社)】

- ・先端医療技術の研究開発拠点。
- ・先端医療センター、神戸バイオメディカル創造センター、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター、分子イメージング研究開発拠点等が立地。
- ・医療機器産業の集積が進捗。
- ・甲南大、神戸学院大、兵庫医療大などが新キャンパスを開設予定。

○関西文化学術研究都市
(京阪奈丘陵にまたがる7市1町)

【進出機関数:270機関、立地施設数:110、都市内研究者数:5,788人(うち外国人246人)】

- ・国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、地球環境技術研究機構(RITE)、情報通信研究機構(NICT)などの研究機関、奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)、大阪電気通信大学、同志社大学などの大学が立地。
- ・パナソニック、オムロン、島津製作所、ロート製薬、大和ハウス工業など企業の研究機関も立地。
- ・ロボット技術を活用したまちづくりパイロットモデル都市としても活動。立地各研究機関と連携した動き。

○次世代スーパーコンピュータ
(神戸市中央区 ポートアイランド)

- ・2012年度より次世代スパコンが本格稼働開始。世界最速の計算処理速度の実現を目指す。
- ・産業利用でもシミュレーションスピードの飛躍的向上など大きな便益あり。

○大阪駅北地区 ナレッジ・キャピタル
(大阪市北区)

- ・環境ビジネスや文化・芸術、新産業創出のための知的創造拠点「ナレッジ・キャピタル」として整備。
- ・産学官連携による環境やロボットビジネスの実証実験・育成・情報発信拠点となる。

2008.9.22 作成: 関経連産業部

関西：地域のポテンシャルを活かし、バイオ・ナノ・環境・情報通信・ロボット技術など、次世代の課題を解決するための研究開発拠点の集積が進んでいる。